

平成23年度老人保健健康増進等事業 事業結果

社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター

事業名	事業実施目的・事業内容
若年性認知症に対する効果的な支援に関する研究事業	<p>若年性認知症支援ネットワークは、本人・家族を中心として、専門職や関係者により構築されたものであり、支援を継続することで、課題や要望を抽出でき、居場所づくり、就労の実績が蓄積され、発信できる。元気かい（若年性認知症の本人・家族会）は月1回のペースで現在も活動しており、愛知県において活動の範囲を広げている。若年性認知症専門のデイケアも徐々に増加しているが、適切なプログラム内容やノウハウはまだ十分には周知されていない。大府センターでのこれまでの経験を生かし、プログラム内容を紹介するパンフレットを作成したことで、若年性認知症のデイケア事業の促進に貢献できる。地域包括支援センターの3職種に、若年性認知症に関する知識や情報を提供することにより、相談に対して適切な対応が可能となる。特に、就労に関する具体的な事例を示せば、適切な資源につながる可能性が高くなる。</p>
施設における認知症高齢者のQOL向上のための多元的アプローチ・リハビリテーションに関する研究事業	<p>認知症高齢者に対して行う効果的なコミュニケーションを使ったりリハビリプログラムである、「にこにこリハ」は、介護施設で利用できる。パンフレットに加えて、わかりやすい実践的なDVDを作成したことでさらに普及を図ることができ、認知症高齢者の短期集中リハビリとして応用すれば、QOLの改善につながる。また、「にこにこリハ」を含めたそれぞれのリハビリプログラムと介護計画を、どのようなスケジュールで組み合わせるのが認知症高齢者にとって効果的であるのかについての知見は、汎用性のある情報であり、リハビリ計画のみならず介護計画や人員配置の観点からも有用な資料となる。</p> <p>本事業の中心的効果は、効果のあるリハビリプログラム（適材）を効果が高い時間（適時）に行うための知見を広く提供することであり、今後も開発・普及を進めて、認知症高齢者や介護者・施設職員に資するものとする必要がある。</p>